

令和 6 年 6 月 24 日現在

機関番号：17201
研究種目：基盤研究(C) (一般)
研究期間：2020～2023
課題番号：20K10660
研究課題名(和文) 多職種連携をめざした大学院における実践的な国際看護の教育プログラムの開発研究

研究課題名(英文) Development of a post-graduate education program in the field of practical international nursing with multi-professional cooperation

研究代表者
新地 浩一 (Shinchi, Koichi)
佐賀大学・医学部・客員研究員

研究者番号：30404164
交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)： 大学院における多職種連携をめざした実践的な国際看護の教育プログラムを構築するために、教育方法や教育項目を明らかにすることを目的として、国際的な看護活動の経験のある看護師14名から、自記式質問紙調査票による調査を実施した。調査により得られたデータを質的記述的解析を用いて分析した。その結果、多職種連携に必要な教育は『ディスカッション』、『演習』、『実習』の3つのカテゴリーに集約された。この結果を踏まえて、実践的な教育方法を実現可能で有用なものから教育プログラムに採り入れた。大学院における効果的な国際看護の教育プログラムを作成して、人材育成に役立てるべく、RECORDS式教育プログラムと名付けた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、知識の修得に帰結しがちである従来の教育方法をシミュレーション演習を含む実践的な国際看護の教育により、「課題探求能力を向上させ、実践的対処能力の養成へと実質化するモデル」である。このような図上演習やシミュレーション実習を取り入れている看護系大学院は極めて少ない。また、教育方法論に関する問題を事例検討を通して、解決を図るシステムの構築を目指している。シミュレーション教育の他分野への展開により、判断力・問題解決能力のある人材育成システムの構築に資することができる。また、国際社会に貢献できる知識・技能に裏付けられた「危機管理能力」に優れた看護職者を育成することが可能となる。

研究成果の概要(英文)： We undertook this study to identify educational methods and elements for the construction of the program for practical international nursing education aimed at multi-professional collaboration in graduate schools. A self-administered questionnaire survey was administered to 14 nurses with experience in international nursing activities (international disaster relief and international medical cooperation). Data from the survey were evaluated by using qualitative descriptive analysis. As the result, the education and training required for multidisciplinary collaboration was grouped into three categories: "discussion", "exercises" and "practice".

We summarized the results and incorporated into our educational program. We named our education program "The RECORDS education program". Based on this program, we proposed the practical graduate education in the field of International Nursing.

研究分野：国際保健，国際看護，災害医学，災害看護

キーワード：国際看護 災害看護 大学院教育 多職種連携 国際緊急援助

1. 研究開始当初の背景

国際看護学領域における実践的な大学院教育に関しては、まだ確立されておらず、全国的にも試行錯誤の状態であった。

2. 研究の目的

本研究は、2016-2019 に実施した看護系大学の学部教育における実践的な国際看護領域の教育プログラムの開発研究（SINCHI 式教育モデル：引用文献 1）をさらに発展させて、大学院における効果的な国際看護の教育プログラムを開発するものである。国際保健活動に必要な基礎的看護実践能力、状況判断能力、問題解決能力を育成するためのシミュレーション演習を含む教育モデルの開発を行うことを目的とする。最終的には、この研究成果を国際看護領域で活躍する人材育成に役立てるものである。

3. 研究の方法

令和 2 年度に、実践的な国際看護教育（国際保健に関する基礎教育・技能訓練・シミュレーション演習）の構築の準備を行い、一部の教育を試行的に実施する。令和 2 年度末までに、海外における国際看護の活動経験のある看護師 14 名に自記式質問紙調査票による調査を行い、大学院における国際看護の教育に必要な事項および優先順位の高い項目の抽出を行う。令和 3 年度には、修士課程 1 年次の国際看護概論（必修科目 1 単位 16 時間）を利用して、約 60 名の学生を対象として、実践的な国際看護の教育を開始する。令和 3 年度末までに学習環境・指導体制を整備するとともに、令和 3～5 年度において、実践的な国際看護の教育を実施する。この調査の成果を踏まえて、学習教材の作成・印刷を行う。また、JICA 海外協力隊の経験者 3 名を研究協力者とし、松永妃都美（長崎大学）および石橋秋奈（久留米大学）を研究分担者として研究を実施した。海外での豊富な医療活動経験を持つ、田中沙恵氏（JICA 専門家）、山本あゆみ氏（ベトナム・ダナン在住の看護教員）および野中良恵氏（厚生労働省）に研究協力を依頼し、国際看護に関する実践的な演習や教育研修に対する助言を受けた。研究分担者の松永は、データの解析と質的分析を担当した。石橋は、国際緊急援助活動における看護師の役割と教育に関する分析を担当した。研究代表者の新地は、研究の総括を行うとともに、国際看護関連の学会や研修会参加の機会を通じて、諸外国における国際看護教育の実情について情報収集を行いつつ教育プログラムの完成をめざした。

特に、開発途上国内で実際に起こった健康危機管理上の問題（大規模な自然災害発生時における対処行動および活動時の危機管理）をモデルにした実践的なシミュレーション演習を教育に取り入れた。この演習に関しては、視聴覚機材を導入した。

令和 4～5 年度においては、前年度までに蓄積された国際看護の教育に関するデータや資料をまとめて分析し、実践的な国際看護の教育プログラムの完成をめざした。国際的な看護活動（国際緊急援助および国際医療協力）の経験のある看護師 14 名から、自記式質問紙調査票により、Open Question（「多職種連携の教育を行うためには、どの

ような教育が必要だと思いませんか？」)の回答を得て、質的記述的解析により分析した。

4. 研究成果

前記の質問紙調査の結果、多職種連携に必要な教育は『ディスカッション』、『演習』、『実習』の3つのカテゴリーに集約された。ディスカッションは「多職種でのディスカッション」「多職種の役割・連携についての体験談と議論」、演習は「ロールプレイ」、「シミュレーション」、「グループワーク」、実習は「多職種連携の現場の見学や実習」、「地域での実習」の7つのサブカテゴリーが含まれた。

この結果を総合的に検討して、国際看護活動経験者からの実践的な教育方法の提案を実現可能で有用なものから教育プログラムに採り入れていくこととした。効果的な大学院における国際看護の教育プログラムを作成して、人材育成に役立てるべく、RECORDS式教育プログラムと名付けた。

RECORDS式教育プログラム

Role of multi-professions: 多職種の役割の認識

Exercise and Practice: 演習と実習(教育方法)

Cooperation and Coordination: 連携と協働

Observation and watching: 見学による学び

Role play and group work: ロールプレイとグループワーク

Discussion of experience: 国際保健医療の経験者との討論

Simulation education: シミュレーション教育

RECORDS式教育プログラムの各項目の詳細について以下に解説する。

Role of multi-professions: 多職種の役割の認識

医療に関する多職種(医師、看護師など)の国際保健活動経験者による講義を取り入れるとともに、図上演習(DIG)の際にも、多職種の学生の混在するグループワークを実施する。また、救援医療チームの職種ごとの人員構成について考えさせる。

Exercise and Practice: 演習と実習(教育方法)

海外医療活動の経験を持つ複数の職種の教員による実践的な演習を取り入れる。特に国際看護を専攻する大学院生には、約2週間の海外医療活動の実習に参加させる。

Cooperation and Coordination: 連携と協働

多職種連携を学ぶとともに、演習や実習を通して、海外の医療関係者との連携と協働を体験させる。

Observation and watching: 見学による学び

海外での国際緊急援助活動の実際の映像を利用して、派遣経験者による解説や講義を教育に取り入れる。

Role play and group work: ロールプレイとグループワーク

グループワークにおいて、チームリーダー、情報収集担当、人事担当、作戦担当、補給担当などの役割を与え、DIGの中で、ロールプレイの要素を取り入れる。

Discussion of experience: 国際保健医療の経験者との討論

教育の中で適宜、国際医療活動の経験のある教員や教育補助者と討議や質疑応答を行う機会を設ける。

Simulation education: シミュレーション教育

国際緊急援助活動などをモデルとしたDIGによるシミュレーション演習を実視することにより、模擬体験を通して、実際の海外での医療活動を学ぶ。

(具体的な教育プログラムの一例)

国際看護学概論 プログラム			(1単位16時間の講義)		
	月/日 (曜)	項目	キーワード・教育内容	授業形態	方法等
1	11/6 (月)	国際看護学(総論)	国際保健・国際保健プロジェクトGO・NGO・在日外国人の医療	講義	対面
2		途上国の保健医療の実態(1)	途上国,国際保健,経済格差,JOCV,外国人看護師(看護職による講義)		
3		途上国の保健医療の実態(2)	アフリカ,アジア諸国における医療・看護(看護職による講義)		
4	11/13 (月)	国際保健における多職種連携	国際機関,赤十字,被支援国の行政組織との連携(医師による講義)	GW	
5		国際緊急援助活動	国際緊急医療援助活動の実際・災害看護、チーム医療		
6		国際保健医療協力に関する演習I	途上国における国際緊急援助活動、DIG、グループワーク、他職種連携		
7	11/20 (月)	国際緊急援助活動(シミュレーション演習)II	グループごとのシミュレーション演習の実施 調整能力,計画の立案 (国際緊急援助活動に関する課題付与による検討)	GW	対面
8		国際緊急援助活動(シミュレーション演習)III	上記項目の発表および討議 プレゼンテーション能力, 講義のまとめ、原案の提示	発表	

DIG: Disaster Imaging Game. GW: Group Work.

JOCV: Japan Oversea Civilian Volunteer. (海外協力隊員)

GO: Governmental Organization. NGO: Non-Governmental Organization.

演習の詳細 (DIG)

シミュレーション演習の一種である。5人前後の大学院生が1つのチームとなり、効果的で効率的な医療支援活動を計画する。演習課題のモデルとしては、最近の事例をもとに構築する。最近日本から派遣された国際緊急援助隊の活動をモデルとすることにより、学生の興味や関心が高まる効果がある。

演習課題と目的：国際的な大規模災害に際して、日本から派遣される医療チームは、どのようにして派遣され、実際に現地でどのような活動を行うのか？また、どのような克服すべき問題があるのか？を検討させて、教員との討議を重ねながら理解させて、今後の医療職としての活動に役立てる。

課題の事前準備：グループ分け(4~5人/1グループ)：グループ分けなどの細部は講義中に指示する。具体的には、隊長(司会も兼ねる)を各グループにて互選で決める。また、発表者などの役割分担を討議にて決めるように指示する。

課題 1：人事(どのような専門家・医療資格保持者を連れて行くか？派遣人員は、総員25名と仮定する)。

課題 2：被災国に派遣されるまでの準備期間(2日間程度)に行うべきことは何か？また、現地では、どのような活動を行うか？(2週間の派遣期間と仮定して、どのようなタイムスケジュールを考えるか。)

課題 3：現地の救援医療活動中に急速に活動地域における治安の悪化が予想される事態となった。(具体的にはテロリストの襲撃の可能性があるとの情報がもたらされた)。これからどのように行動すべきか？現地で連携や協力を求めるべき組織にはどのようなものがあるか？(危機管理に関する課題)

.....

令和5年11月には、研究協力者で厚生労働省勤務の看護師・野中良恵氏を佐賀大学に招聘し、国際看護活動に関する教育講演および教育推進に関する討議を実施した。教育講演においては、令和4年に発生したトルコ大地震に対する国際緊急援助活動(Type2の外科機能を有する国際緊急援助隊の派遣の実際と現地での活動の詳細)を解説していただいた。今後の国際看護の大学院教育において演習のシナリオとして活用することができる貴重な教育資料を得ることができた。

この研究の成果が、今後のわが国における国際看護領域の大学院教育の一助となり、国際的に活躍する看護職の人材育成に貢献することを願う次第である。

研究代表者 佐賀大学名誉教授 新地浩一

(引用文献1)

Koichi Shinchi, et al.: Proposal of a Model of Disaster Medical Education for Practical Risk Management and Disaster Nursing: The SINCHI Education Model. Prehospital and Disaster Medicine, 34(4),438-441,2019.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 野中 良恵, 松永 妃都美, 高橋 公一, 柴山 薫, 秋永 和之, 石橋 秋奈, 福山 由美, 新地 浩一	4. 巻 10
2. 論文標題 災害支援ナースの教育に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Inclusive Education	6. 最初と最後の頁 1~16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20744/incleedu.10.0_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石橋秋奈, 新地浩一, 福山由美	4. 巻 63 (4)
2. 論文標題 国際災害医療救援活動における周術期看護実践能力の向上に必要な要素	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 医療の広場	6. 最初と最後の頁 15-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計10件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Shibayama K, Ishibashi A, Shinchi K
2. 発表標題 Introduction of practical international field training in the postgraduate course in Saga University, Japan.
3. 学会等名 The 26th East Asia Forum of the Nursing Scholars 2023 (Tokyo, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 新地浩一, 柴山薫, 石橋秋奈, 野中良恵, 松永妃都美, 南嶋里佳, 福山由美
2. 発表標題 大学医学部および医学系大学院における災害医学教育の向上をめざして
3. 学会等名 第28回日本災害医学会総会・学術大会 (盛岡)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松永妃都美, 新地浩一
2. 発表標題 東京電力福島第一原子力発電所事故による自主避難者の経験
3. 学会等名 第28回日本災害医学会総会・学術大会(盛岡)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松永妃都美, 新地浩一
2. 発表標題 大学院における実践的な教育方法の開発に関する研究
3. 学会等名 第27回日本災害医学会学術大会(広島)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新地浩一, 松永妃都美, 野中良恵, 柴山薫, 石橋秋奈, 他
2. 発表標題 多職種連携をめざした佐賀大学大学院における災害医療に関する教育の紹介
3. 学会等名 第27回日本災害医学会学術大会(広島)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石橋秋奈, 福山由美, 新地浩一
2. 発表標題 看護系大学院における国際看護領域の教育の必要性について
3. 学会等名 日本国際保健医療学会第39回西日本地方会(オンライン開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ishibashi A, Shinchi K
2. 発表標題 The role of surgical nurse in International Disaster Response in Japan.
3. 学会等名 Joint Congress on Global Health 2020 in Osaka
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nonaka K, Ishibashi A, Matsunaga H, Fukuyama Y, Tanaka S, Shinchi K
2. 発表標題 Medical support activities on Pacific Partnership 2018.
3. 学会等名 Joint Congress on Global Health 2020 in Osaka
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石橋秋奈
2. 発表標題 国際的な災害医療支援活動において周術期 看護に必要な能力の検討
3. 学会等名 第37回日本手術看護学会年次大会（福岡）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 新地浩一, 柴山薫, 松永妃都美, 石橋秋奈, 野中良恵, 南嶋里佳, 田中沙恵, 福山由美
2. 発表標題 佐賀大学大学院における多職種連携をめざした実践的な災害看護教育の紹介
3. 学会等名 第29回日本災害医学会学術大会（京都）
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松永 妃都美 (Matsunaga Hitomi) (60612017)	長崎大学・原爆後障害医療研究所・助教 (17301)	研究データの解析 教育に関する質的分析 教育プログラムの構築の補助
研究分担者	石橋 秋奈 (Ishibashi Akina) (10914038)	久留米大学・医学部・助教 (37104)	国際緊急援助活動における外科系看護師の役割および人材育成に関する研究 (論文リスト番号2)
研究分担者	徳永 郁子 (Tokunaga Ikuko) (10325615)	熊本保健科学大学・保健科学部・准教授 (37409)	国際看護に関する教育の補助および学生の評価

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	柴山 薫 (Shibayama Kaoru)	佐賀大学・医学部・講師	大学院教育における海外医療支援活動への参加による教育効果の分析および国際学会発表(学会発表リスト番号1)
研究協力者	野中 良恵 (Nonaka Kazue)		国際緊急援助隊への参加経験に関する教育講演および教育プログラムへの助言 災害支援ナースの教育に関する論文発表(論文リスト番号1)
研究協力者	田中 沙恵 (Tanaka Sae)		フィリピンおよびザンビアにおける長期の国際保健活動経験に関する教育講演および教育プログラムへの助言

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	山本 あゆみ (Yamamoto Ayumi)		ベトナムにおける長期の看護教育活動に関する教育講演および教育プログラムへの助言

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関